

6月定例会 市長より議会へ  
**行政報告**



門脇槇夫市長

平成22年第4回香美市議会6月定例会が6月16日に開会された。定例会初日には議長・各特別委員長の報告、また門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。

**改正過疎法**

平成二十二年三月末で失効の過疎法は法改正で平成二十八年三月三十一日までの六年間延長されることになった。これに伴い、香美市過疎地域自立促進市町村計画案を作成し、次期定例会議会への提案を予定している。

なお、今回の改正により前回の国勢調査結果が反映されたことから、従前の「みなし過疎地域」から香美市全域が過疎地域の指定を受けた。

**国勢調査実施  
本部設置**

平成二十二年国勢調査（調査期日十月一日）の実施にあたり、市長を本部長に、全課長を本部長とする実施本部

を五月一日に設置した。

**神池  
ヘリポート**

物部町神池において、五月三十一日に市内では初めての専用ヘリポートが完成した。

事業費は約一千万円、敷地面積は五八七・三五平方メートルで、南海地震等の災害時や救急患者の搬送時などに重要な拠点となる。

**自主防連絡  
協議会の設立**

四月二十四日に香美市自主防災組織連絡協議会を設立した。市内の自主防災組織と市、並びに各組織間の情報や意見交換を行っていることにより、災害時における防災能力の向上を図る。

**生活保護の状況**

前年度と比較すると、被保護人員十五人、被保護世帯十三世帯、相談延件数七十三件、申請件数十四件の増加となり、保護開始世帯の内訳について、従前は「高齢者世帯」、「傷病世帯」が大半だったが、一昨年暮れ頃から

就労先を確保できない稼働可能な年齢層の保護開始が増加傾向にある。

**子ども手当**

り、保護開始ケースの半数以上を「その他世帯」が占めている。

四月から申請受付を開始し五月三十一日現在、千五百八世帯が支給手続きを終えた。今後、未申請の百五十二世帯（公務員等の受給資格者含む。）に対して調査を行い、受給資格者には申請を促していく予定である。



神池ヘリポート

### 二十二年度中の災害・改修工事

二十一年度繰越事業の農地災害・水路改修工事の五件の内、二件は完成し、二件は七月末完成予定である。残り一件は稲刈り後、発注予定である。

船谷池改修工事の五月末の進捗率は約六五％で、本体工事は来年二月完成予定である。

中組・須江地区の用水路改修について、関係各位へ事業説明を行った。

### 水田農業戸別所得補償制度

水田農業戸別所得補償制度は四月下旬から受付を開始しており、これまでの受付数は二千二百六十五件、内五百七十三件が戸別所得

補償の対象になっている。

また、中山間地域直接支払制度は、対象者の高齢化に配慮した制度に見直された上、今年度から五年間延長となった。

### 商工観光

四月一日に情報発信交流施設「香美市いんふおめーしょん」がオープンし、四月、五月の来館者は、三千百九十八人であった。

今後、施設内の展示内容更新等を行い、常に新しい情報の発信に努める。

### 新たな雇用を

平成二十一年度高知県緊急雇用創出臨時特別基金事業において、十二事業おこない、新



規雇用者を四十一人確保し、事業実績は三千四百二十九千六百四十六円であった。

集い、憩い、交流の場として活用していきたいよう、安全管理を徹底する。

### 都市計画

広域都市計画秦山公園が平成二十一年度整備事業により全て完了し、六月より歴史の森、野鳥の森、追加駐車場等の供用開始となった。今後、多くの市民が

### 汚水事業

平成二十二年四月一日現在、土佐山田町の処理区域内の水洗化戸数は七〇・九％となり香北町の水洗化戸数は五八・〇％となっている。香北町においては

### 地籍調査

当初計画の面整備は終了しており、今後一層の水洗化促進を図る。

本年度は、土佐山田町西後入の一部、香北町河野・有瀬・五百蔵の各一部、物部町大栃・仙頭の各一部、合わせて四・九平方を調査する予定である。

### 林業振興

全国五地域で実施する「森林・林業再生プラン実践事業」に香美森林組合・物部森林組合が選ばれた。現在、ドイツ等林業先進地の実践事業（施業・路網・集約化・先進林業機械の活用等）を学び、流域の森林・林業再生を目指し十力年の地域実践計画を策定するこ

とになっている。

### シカ肉を活用した学校給食

農林被害拡大への理解と地産地消を目的として、六月十四日、大栃小・中学校で、初めてシカ肉を使った学校給食が提供された。

高タンパク、低脂肪、鉄分を多く含んでおりヘルシーな食材として、今後も学校給食において活用していく。

### 名称は「あけぼの」保育園

平成二十二年度に建設予定の（仮称）B保育園は三月末に造成工事が完了した。また、名称を公募したところ百三十通の応募があり、選考した結果、「あけぼの保育園」と決定した。